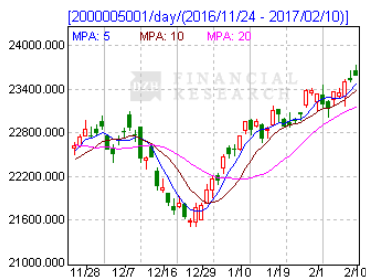


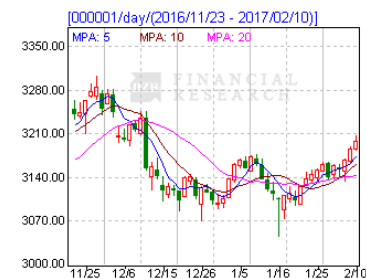


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	20,269.37	96.97	0.48	0.99	2.56	19,762.60
NASDAQ	5,734.13	18.95	0.33	1.19	6.52	5,383.12
日経225	19,378.93	471.26	2.49	2.44	1.38	19,114.37
上海総合	3,196.70	13.52	0.42	1.80	3.00	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,413.49	17.20	0.51	1.46	3.12	3,310.08
ハンセン	23,574.98	49.84	0.21	1.93	7.16	22,000.56
H株	10,125.21	50.04	0.50	4.56	7.77	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.9%高と反発、上海総合指数は1.8%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.9%高と反発。小幅ながら反落した7日を除く4営業日はいずれも上昇し、約3カ月半ぶりの高値で週の取引を終了。売買代金の増加を受けて本土からの資金流入が膨らんでいるとの見方が浮上。3月の全国人民代表大会を前に中国の政策期待も支援材料となり、H株指数は10000ポイントの大台を回復した。本土市場では上海総合指数が週間で1.8%高と反発。政策期待を背景に週を通じておおむね堅調に推移し、10日には上海総合指数が一時3200ポイント台を回復した。

今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、米中の緊張緩和が追い風に

香港市場はしっかりの展開か。前週末に行われた米中首脳による電話会談でトランプ大統領が「一つの中国」の原則を認め、米中関係が正常化に向け動き出したことが追い風となりそうだ。一方、中国で短期金利の引き上げや公開市場操作の見送りが続くなか、14日には中国の物価統計の発表を控えており、金融引締め懸念の高まりが上値を抑える可能性がある点には注意が必要。本土市場もしっかりの展開が見込まれる。米中関係の改善に加え、3月の全人代開催に向け政策期待が引き続き相場を支える要因となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国人寿保険 (02628)	23.70	10.75
2 華潤置地 (01109)	21.45	10.45
3 昆侖能源 (00135)	6.56	7.89
4 キャセイ・パシフィック (00293)	11.20	6.87
5 中国銀行 (03988)	3.74	6.86
6 招商局港口 (00144)	22.05	6.27
7 中国平安保険 (02318)	41.60	5.99
8 百麗国際 (01880)	5.17	5.51
9 中国海外発展 (00688)	24.15	5.46
10 香港証券取引所 (00388)	195.80	5.04

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サズ・チャイナ (01928)	31.95	-5.61
2 ワーフ (00004)	57.35	-1.97
3 長江インフラ (01038)	63.25	-1.25
4 テンセント (00700)	202.60	-1.17
5 CNOOC (00883)	9.63	-1.13
6 中国神華能源 (01088)	16.16	-0.49
7 シバック (00386)	6.15	-0.32
8 長江和記実業 (00001)	91.50	-0.27
9 銀河娛樂 (00027)	35.50	-0.14

▼今週の主なイベント

- 2月14日(火)
- 【中国】CPI, PPI(1月)
- 【米国】イエレン FRB 議長の議会証言(15日まで)

▼今週の期待材料

- ◆米中首脳が電話会談、トランプ米大統領が「一つの中国」の原則を尊重する立場を表明
- ◆中国の1月の貿易統計で輸出・輸入ともに市場予想を上回る強い結果に、景気の減速懸念が後退
- ◆3月の全国人民代表大会の開幕近づく、開幕を前に引き続き政策期待が追い風になる公算

▼今週の懸念材料

- ◆中国人民銀行が先週末まで6日連続で公開市場操作を見送り、資金ひっ迫懸念が強まる可能性も
- ◆14日に中国の1月の物価統計発表、予想を上回る物価上昇が確認されれば金融引き締め懸念が高まる公算
- ◆北京で68歳の男性がH7N9型鳥インフルエンザ感染で重体、今後さらなる感染拡大の可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 吉利汽車 (00175) : 3月6日付でハンセン指数構成銘柄に新規採用が決定
- ☆ 康師傅控股 (00322) : 西安の遊休工場を売却、土地使用権含め売却益6000万元
- ☆ 世茂房地產 (00813) : 1月の不動産販売額が58%増加、販売面積は27%増
- ☆ 華能新能源 (00958) : 1月の発電量は風力発電が29%増、太陽光発電が31%増
- ★ 東亜銀行 (00023) : 17日に16年本決算を発表、市場予想は32%減益
- ★ 青島ビール (00168) : H株指数構成銘柄から3月6日付で除外が決定
- ★ リー&フン (00494) : ハンセン指数構成銘柄から除外が決定、3月6日付で発効
- ★ レノボグループ (00992) : 16日に10-12月期決算を発表、市場予想は49%減益
- ★ サズ・チャイナ (01928) : 17日に16年本決算を発表、市場予想は9%減益
- ★ 遠洋集団 (03377) : 1月の不動産販売額が13%減少、販売面積は36%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。